



# 日本女医会誌

題字 吉岡彌生

## 巻頭言

### 国際女医会議開催に向けて ますますのご支援を

副会長 鹿田 儀子

沈丁花の良い香りがただよい、春の訪れを感じるこの頃です。皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

インフルエンザの流行は、幸い昨年より少なかったようですが、鳥インフルエンザが紙面を賑わしています。新型肺炎 SARS と共に、これからの大きな課題となりました。

また、イラクでの戦闘が終結したかに見えましたが今もテロによる犠牲者が多くあり、悲しいことです。イラクへの復興支援のための自衛隊派遣、北朝鮮との外交問題、と世界平和が来るのはまだまだ遠い夢でしょうか。世界の人々が皆幸せになるよう祈らずにはられません。

今夏には、ギリシャのアテネでオリンピックが開催され、世界各国の多くの若人が集います。日本女医会も皆様のご支援のもとに、27年ぶりに国際女医会議を日本で開催すべく、準備を進めています。私たちは医学を通して、世界平和のために少しでも尽力できるよう、国際女医会議を有意義な会にしたいことが大切であり、またそうなることを信じます。

平成15年度は、独立行政法人福祉医療機構の子育て支援基金からの助成で行っております「十代の性と健康の支援事業」の指導者養成講座を予定通りに横浜、札幌、盛岡、岡山、長野と開催することができました。これも各地区の会員の皆様のご協力があったことで、開催に当たりご尽力頂いた皆様に深くお礼申し上げます。各会場では予想を超える参加者があり、関心の深さに改めてこの活動の意義を感じました。少子化が続いております今、次世代を担う子どもたちの健全な成育のため、このような活動をさらに広げて行かなければなりません。引き続きご支援頂きますようお願いしております。

平成16年度の総会が前会誌でご案内しましたように、青森で開催されます。青森支部では前田慶子支部長をはじめ、会員の皆様により全国の会員の方をお迎えをすべく着々と進めて頂いております。国際女医会議を控えての大事な総会ですので、ぜひご参加頂きますようお願い申し上げます。

27年前東京で開催しました国際女医会議のようにぜひとも盛会に終わり、各国の女性医師をはじめ会員その他の参加された方々が、有意義であったと喜んで頂き、また心に残る会議にしたいと願っています。

どうぞ厚いご支援とご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 日本女医会誌 第178号 もくじ

巻頭言……………副会長 鹿田 儀子(1)  
平成15年度学術講演会を開催して…学術部 山本 續子(2)  
日常診療におけるリスクマネジメントのポイント……………  
……………東北大学病院 梅澤 昭子(2)

### 〈第26回 国際女医会議〉

お揃いでご参加を……………副会長 石原 幸子(3)  
プログラム変更のお知らせ……………学術部 山本 續子(3)  
〈「健やか親子21」関連事業「十代の性と健康」指導者養成講座〉第7回を開催して……………  
……………岡山中央病院副院長 金重恵美子(4)

第8回を長野で開催して……………長野支部 内坂由美子(5)

\*

中東女性交流 Closed Session に参加して……………

……………ナショナル・コーディネーター 平敷 淳子(5)  
お隣に会員制シニア向けのコミュニティークラブ開設……………  
……………神奈川支部 稲生 襄(6)

### 〈支部だより〉

来てけへ、青森さ、待ってらはんで……………青森支部 前田 慶子(8)  
書評『壊れた脳 生存する知』……………広報部 山崎 康子(8)  
\*平成16年度「児童福祉週間」のお知らせ……………(10)  
\*第49回総会のお知らせ……………(10)  
\*新医学用語豆辞典……………(10)  
\*理事会議事録(11～1月)……………(12)  
\*会員動静……………(15)  
\*編集後記……………(15)  
\*第26回国際女医会議寄付者一覧……………(16)

## 平成15年度学術講演会を開催して

学術部 山本 纈子

今年度の学術講演会は平成16年1月17日に京王プラザにて開催されました。講演者は東北大学病院医療安全推進室副室長梅澤昭子先生で、かつて日本女医会学術奨励賞を受賞されたご縁で、快くお引き受けいただきました。

講演は「日常診療におけるリスクマネジメントのポイント」と題するもので、東北大学病院における取り組みとその経験から一般病院や診療所でのリスク回避のノウハウについて大変わかりやすくお話しいただき、聴講された会員の評価は非常に高く、早速、別の会での講演依頼があったほどでした。講演後は新年の懇親会が企画され、楽しい語らいが続きました。

内容については先生の報告をご覧いただきたく存じますが、産業界で行われている立案、実行、評価、修正（PDSAサイクル）を活用されて実績を上げておられるとのお話に構造改革を着実に進行するには異業種交流も一つの鍵と実感した次第です。

平成16年度の学術講演会は、夏に国際女医会議が開催されますので1回とし、やはり新年の懇親会を兼ねて1月中旬に開催の予定です。多くの会員の皆様の御参加を期待しております。

## 日常診療における リスクマネジメントのポイント

東北大学病院 医療安全推進室 梅澤昭子

### はじめに

医療事故防止活動は、いまやどの医療機関でも取り組むべき課題である。当院の取り組みを通じて日常診療でのポイントを紹介する。

### 組織横断的活動

我々は組織横断的活動に重点を置き、医師・看護師・薬剤師など複数の職種からなる医療事故防止に関するチームを構成した。平成14年度は「インスリン治療の安全管理」および「危険薬の誤投与防止」の2つのチームが活動し、院内統一の標準スライディングスケールの作成、危険薬希釈投与時の表記方法の院内統一を行った。医師がリーダーシップをとったことで比較的短期間で達成され、医療安全活動に要求される医師の役割はリーダーシップとコミュニケーション能力であることが鮮明になった。

さらに取り組みで重要なのは、産業界で用いられるPDSAサイクルを採用することである。PDSAはPlan, Do, Study, Actionの略で、計画を立て（Plan）、実行し（Do）、その評価をして（Study）、修正する（Action）ことを繰り返すことにより活動の質が高まるという思考サイクルである。Pだけ、



NOVARTIS

# THE ARB DIOVAN

選択的AT<sub>1</sub>受容体ブロッカー

薬価基準収載



ディオバン錠 80mg  
40mg

指定医薬品 要指示医薬品 注意・医師等の処方せん・指示により使用すること  
DIOVAN バルサルタン錠

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。

製造：日本チバガイギー株式会社

販売

ノバルティス ファーマ 株式会社  
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

(資料請求先)

NOVARTIS DIRECT

☎0120-003-293  
受付時間：月～金 9:00～18:00  
www.diovan.jp

2003年7月作成

またはPDに終始しないような働きかけが必要である。

#### まとめ

組織横断的な真の「チーム医療」を達成していく

ことが、複雑化した医療現場での事故防止の鍵である。このような取り組みは、職員一人一人の活動の上に成り立っており、そのなかでリーダーシップをとる医師の役割は重要である。



## 第26回 国際女医会議 (MWIA 2004)

### お揃いでご参加を

副会長 石原幸子

私達の主催する国際女医会議もそろそろ大詰めの時が参りました。皆様登録はお済みでしょうか？女医会を支えてくださる会員のご参加が第一でございます。どうぞ一日も早くご登録下さいませようお願い申し上げます。外国からの参加も徐々に来ております。この機を逃しての日本での国際会議は先ずないと思います。私どももこの会の進行を滞り無く進めております。今世紀最初のこの機会に是非皆様方お揃いでのご参加を心よりお待ちしております。成功のために頑張りましょう。

### プログラム変更のお知らせ

学術部 山本纈子

第26回国際女医会議の演題受付が締め切れ、海外95題、国内20題の演題が寄せられました。現在これらの演題の採否判定に入っており、その後、プログラム作成と英文和訳の作業が控えていますが、予定通りに進行しています。

当初のプログラムの内容に若干の変更があります。平敷先生が当方の意見を頑張って主張下さいましたが、本部の要望もなかなか厳しく学術講演や発表は右のとおり落ち着いた。

前回のプログラムと若干異なっておりますので予定を再確認下さいませようお願い致します。

なお、19日と31日の10時10分から12時10分までに一般演題の講演、29日、30日、31日の9時～17時の間にポスター発表が行われますのでこちらのほうにも御参加下さい。

海外から多くの方々が参加されますので、この機会にFace to Faceの国際交流・国際親善がなされますよう期待しております。

盛夏に開催されますので、会員の皆様にはこのほか健康管理をお願い致し、会場でお目にかかるのを楽しみに致しております。

#### 第1日目●7月28日(水曜日)

9時45分～	ヴァイオリン演奏
10時～10時45分	開会式
11時～	基調講演(緒方貞子氏)
12時～	開会レセプション(立食)
14時～	総会1

#### 第2日目●7月29日(木曜日)

9時～10時	プレナリーセッション1 ～糖尿病と女性の健康
10時10分～12時10分	シンポジウム(AIDS関連)
12時20分～13時20分	ランチョンセミナー *糖尿病関連 *痴呆の最前線 *子宮癌の診断
14時～16時	リーダーシップワークショップ
18時20分～	ガーデンパーティー(椿山荘)

#### 第3日目●7月30日(金曜日)

9時～10時	プレナリーセッション2
10時10分～	総会2
12時～13時	ランチョンセミナー *糖尿病関連 *片頭痛の最前線 *乳癌の診断
14時～	病院見学

#### 第4日目●7月31日(土曜日)

9時～10時	プレナリーセッション3 ～医療における女性
10時10分～12時10分	シンポジウム (思春期の性)
12時20分～13時20分	ランチョンセミナー *SARS *高血圧治療の最前線 *肺癌の診断
14時～16時	ジェンダーワークショップ
18時～	晩餐会(京王プラザ)

#### 第5日目 8月1日(日曜日)

9時～	総会3と閉会式
-----	---------

# 「健やか親子 21」 関連事業 「十代の性と健康」 指導者養成講座 第7回を開催して

岡山中央病院副院長 金重恵美子

昨年、日本女医会の「十代の性と健康」指導者養成講座の素晴らしいプログラムを見て、ぜひ岡山でも開催していただきたいと考えました。お願いはしたものの、地方都市での開催は実現困難かしら、と思っていましたので、昨年5月、岡山での開催が決定したとお知らせいただいたときは、飛び上がりたいほど嬉しかったことを覚えています。

それから約半年、昨年12月7日（日）に「ピュアリティまきび」で、医師・助産師・看護師・臨床心理士など医療関係者38名、小中高大学など学校関係42名、行政関係8名、大学生・院生12名、その他性教育指導に関心や関連のある方24名の総計124名が参加して開催できました。

当日は、10時から16時半まで休む間もなく、充実した講演やディスカッションを行うことができ、大変好評のうちに終わることができました。遠路お越しいただいた講師の種部恭子先生、庄子晶子先生、岩室紳也先生、日本女医会 橋本葉子会長、

加藤竺子副会長、松井ひろみ理事には厚く御礼申し上げます。どの先生方の講演も迫力満点、熱意が伝わってきて、参加者全員が聞き入っていました。「性教育の理解に役立った」「もっと多くの同僚たちにも聞いてもらいたかった」「ぜひまたこのような講座を開催してほしい」と、多くの方から声をかけていただきました。なにぶん、準備不足と不慣れな点が多々ありご迷惑をおかけしたと思いますが、参加の方々のご協力のもと、無事終わることができました。

ただ残念であったことは、ワークショップ形式のディスカッションを企画したために、時間的にゆとりがなく、せっかくの機会であったにもかかわらず、講演後の質問時間がとれず時間に追われたことは、講演の先生方にもまた参加者の皆様にも申し訳なく感じました。

「ディスカッション」は、「①行政の取り組みと要望」「②保護者に必要な性教育の知識～親子が性について語り合えるために～」「③メディア」「④ピアエデュケーション」「⑤学校での性教育の重要性の理解のために」「⑥地域の活動の中での参画」「⑦医療関係者が性教育に関わるとしたら？」の7グループにわかれてワークショップを行いました。異



広範囲経口抗菌製剤 (ピリドンカルボン酸系)  
指定医薬品・要指示医薬品<sup>※1</sup> 薬価基準収載

# オゼックス錠 75 150

OZEX<sup>®</sup> トシル酸トスフロキサシン (略号 TFLX)

注) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



販売元 [資料請求先]  
大正富山医薬品株式会社  
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1



製造元  
富山化学工業株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-5

2003年3月作成

業種の方々と意見交換ができたことは好評でしたが、話し合いの時間が短く内容を深めるところまで至りませんでした。ご講義いただいた先生方との質疑応答時間として計画したほうが、有意義ではなかったかと反省しています。

この「十代の性と健康」指導者養成講座を機会に、岡山において職種を超えた思春期のリプロダクティブヘルスのためのネットワークづくりと性教育のシステムづくりが進むことを期待しています。

最後に、もうすでに次に続く取り組みが始まっていることをご報告します。

## 第8回を長野で開催して

長野支部 内坂由美子

長野県でも増え続けている十代の妊娠、そして中絶。リストラット、自殺未遂を繰り返す少女たち。指導者の方々が対応しきれない現場の声に何らかの対策をと、この会の開催をお願いいたしました。まず、こうして今回「十代の性と健康」指導者養成講座を長野で開いて下さった、女医会の先生方に心より感謝いたします。時を得た講座であると、県衛生部、県教育委員会、県医師会はじめ、NGOである「長野いのちの電話」「長野チャイルドライン」など多くの方々と、緊急性を感じながら準備から開催、そして後片付けまでをともにすることができ、単に講座を聴くのみでなく、横のつながりを深めていくことのできた意味深い会だったと思います。

長野県文化会館で開かれた大会は、参加者226名。職業も、なかなか普段交わることのない医療関係者（医師、保健師、助産師等）と学校関係者（養護教員、教師、教育委員会の方等）とNGOの方々の参加がありました。

当日は日本女医会 橋本葉子会長、加藤竹子副会長をはじめ、対馬ルリ子先生、剣陽子先生、のゴールデンメンバーで、臨んでくださいました。

午前中は、対馬先生からの「プロダクティブヘルスと新しい性教育のあり方について」総合的なご講演、その後、剣先生が公衆衛生の立場から、諸外国における「ピアカウンセリング」の実際を紹介してください、私たちの視野をグンと広げてくださいました。

午後にはシンポジウム形式で、「十代を豊かに」というテーマで、長野県内で活動している、4人の先生方に発表していただきました。まず、産婦人科

医で北信母性保護相談所の渡邊智子先生が、長野でも「十代妊娠中絶年間100名を超える」ことになっている産婦人科の状況を、次に精神科の村田志穂先生が「自己表現の流行の1つ」になってしまったりストカットから薬物依存にいたるまでの少女少女達の姿を語ってください、さらに、長野市保健所保健予防課長の宮田美恵子先生からは、行政の立場から「十代の生、性、Sayへの取り組み」という題で、高校生の性行動の具体的統計と市保健所でのピアカウンセリングの発表を、最後に、教育現場からは東海大学第三高校講師「性教育」担当の竹内未希代先生から教育現場で乗り越えてきた様々な道筋のなかで進められてきた性教育の実態を語っていただき、各分野の参加者も「自分の分野の常識が他の分野では通用しない」ということを学び、ともに手を携えていこう、という非常に深い学びへと結びついたと思います。重厚な会でした。

また、この会で学んだことの実践が現場で次の日から生かせるようにと、シンポジウム後、6つのグループに分かれてそれぞれのテーマについて話し合うという形がとられました。そのなかで、個人的な問題も含めて、熱心に討議がなされ、互いに深く関わっていくことができ、参加しただけでは終わらない、宿題をたくさんいただいた会となったと思います。

思春期の性と健康を愛を持って守っていくために、医療界と、教育界が互いに手を取り合っていかなければ、と今後も定期的に集まろうというネットワークがすでにできつつあります。このような機会をくださった先生方に、心から感謝申し上げます。

## 中東女性交流 Closed Session に参加して

ナショナル・コーディネーター 平敷淳子

婦人国際平和自由連盟日本支部 (Women's International League for Peace and Freedom, WILPE) の主幹による今回の中東女性交流の closed session は、2004年2月12日(木) 13:30～16:30の予定で日本女子大学100年館の一室で行われました。「女性と平和」という大きなテーマが掲げられておりました。

ジョルダン、エジプト、パレスチナの3カ国から各2名ずつ計6名と国連NGO国内婦人委員会に所属する10団体の参加者各団体1名ずつ、発表者

と round table 形式に同席するという形態でした。自由討論では、参加者は本当に自由かつ活発に議論に加われました。日本女医会からは橋本会長と平敷とが参加し、私が指名発言席につかせていただきました。

会に先立ち、Mme. Mali Siam(駐日パレスチナ常駐代表部代表夫人、wife of Walid Siam, Representative of Permanent General Mission, パレスチナに対しては「大使」という呼び名を用いていない)がご挨拶され、中東女性交流のこれまでの成果と日本政府に対する御礼を申されました。残念なことに、今回は外務省からの参加はありませんでしたが、ヨルダン大使館員や日本女子大や WILPE の外国人会員の参加も見受けられました。

中東からの代表団は、前日の午後4時に日本に着き、しかも closed session の当日の朝は小学校見学というきついスケジュールにも関わらず、元気一杯。しかも全員 power point を用いたスライドによる computer presentation。ご講演の内容も充分吟味されていました。10分間という講演時間をしっかりと遵守し、発表されました。

内容は「平和教育」を中心に、まずヨルダンの Mme. Rawsan "Samira" Naber が、ヨルダン女性総連盟の理事であり、財務担当者として女性が家庭や地域で小さな子供のときからやさしく、怒らずに平和教育をしていくことの大切さを、ご自身の子育ての経験も交えながら話されました。若者みずからが世の中の violence を減らしていく術を身につけられるよう、教育の場でなされなければならないことを力説されました。

パレスチナの Mme. Zaninab Alwazir はパレスチナ教育庁の副長官補であり、「教育の質を高めるための教育」という観点で、政治や戦争と教育とは切り離して考えることはできないとし、1918年イギリスが支配していた時代から現在のパレスチナ自治にいたる時代を4区切りにわけ(1918～1948: イギリス支配、1948～1967、1967～1994: イスラエル占領、1994～: 現在)、それぞれの時代に女性が教育のために捧げてきた努力を話されました。イスラエル占領下の女子学生の恐怖に満ちた顔つきの通学姿のスライドも示されました。パレスチナの子供たちが海外に出て見聞を広める機会を作っていただければ、と結ばれました。

エジプトからは Mme. Dalia Mostafa Kamal Hassan (国家母子評議会調整員)は「Girls' Education Initiative (2002～2007)」と題し、

子女の教育こそが最も報酬の多い投資であると言い切り、いまなお直面する貧困、子供の労働、高い乳幼児死亡率や低い就学率を是正するために努力している旨報告されました。

日本からは、WILPE 日本支部を代表し日本女子大非常勤講師の秋林こずえさんが、「平和を violence がないこと」と定義すると、平和と思われている日本も決して「平和」ではない、と沖縄での米兵による子女暴行事件などに言及されました。

自由討論は限られた時間でしたが、「イラクへの自衛隊派遣をなぜしたか」「被爆国日本がなぜ戦争に関与する」「なぜ国連 NGO 国内婦人委員会はこの問題に反対しなかったのか」などイラク問題に集中しました。閣議の意志決定の時点で女性が多数加われないなど、やはり痛いところをつかれた質問には迫力のない答えしか出ませんでした。

本会は日本女子大の学生コーラスで締めくくられました。

## お隣に会員制シニア向けの コミュニティークラブ開設

神奈川支部 稲生 襄

当院のすぐ隣に、国内では初めての、健康な高齢者(56歳以上)を対象とした会員制の施設「KJ コミュニティークラブ武蔵小杉」が平成15年11月にオープンしたのでご紹介させていただく。

高齢者施設というと、これまでは介護とかケアを考えがちだったが、この施設は、健康な初老の高齢者を対象に、趣味や教養を通じて、会員同士のコミュニケーションを図り、快適な老後を過ごすための場所として計画されたものである。3階建ての某会社の独身寮の内装を一新したもので、はじめて案内されたものは皆その変容ぶりに驚いている。

1階には男女大浴場、サウナのほか、フィットネスルームやマッサージ室、救急患者用のベッドルームがある。2階は「加賀屋東京店」の前料理長が腕を振るう和食中心のダイニングルーム、VIP ルーム(4室)、大型ワイドテレビ完備のマイナスイオンルーム(2室)があり、3階は囲碁、将棋、麻雀、カラオケ(3室)など、趣味を楽しむための部屋のほかにパソコンルーム、イベントルーム、会議室、健康・法律相談室が備わっている。

会員制で240名限定。入会金は20万円、預託金10万円。法人会員(記名3名)は10社限定。

入会金 60 万円で預託金は不要となっている。「KJ」とは、建物の前身である「川崎住宅(株)」と、「快適人生」に通じている。川崎市の出資は24%とのこと。

私は既に4回、友人を誘って内部の案内を受けた後に会食したが、大変喜ばれている。

去る1月23日には、大ホールにて「ペギー葉山さんを囲む夕べ」があり、歌10曲くらいのほか、トークも好評、紅の衣裳もお似合いで、とても素敵な夕べであった。

交通は、渋谷から東急東横線の特急で、駅3つ目の「武蔵小杉駅」下車で送迎バスがあるが、タクシーでも基本料金で着く。ぜひ一度お越しあれと思う次第である。

さて、私もいつの間にか満85歳となり、自分でも驚いている。最近は午前中のみの診療を行い、午後は趣味や講演会受講等でよく出かけている（眼も耳も脚も悪くないので）。最近3件ほどやっていてよかったナー、と思うことをご紹介して終わりにしたい。

【その1】 2歳半の男児のペニスがソーセージの様に腫れ真っ赤になってきた。本人は元気なるもとても心配と休日にTelあり、引き受けた。到底手に

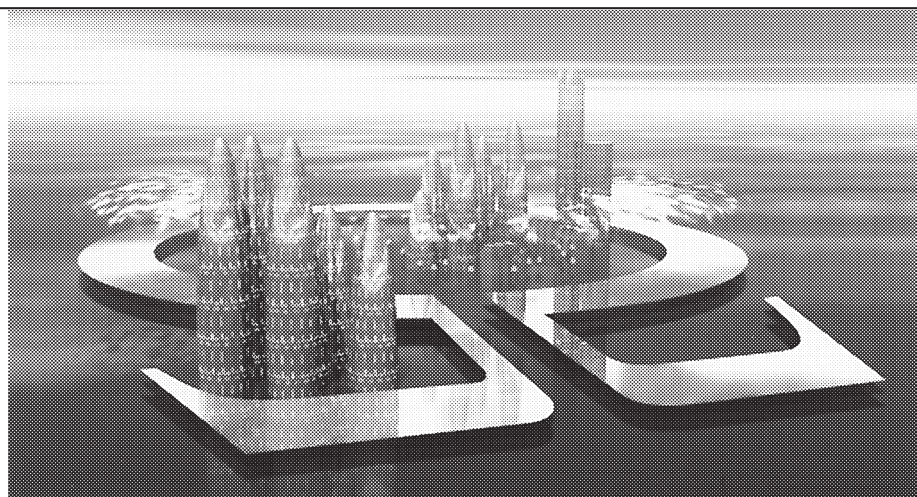
おえる状態ではない。休日の夕方なのでどこへ電話しても（成育医療センター〈前国立小児病院〉にまでかけたが）、「担当がおりません」と断われ、挙げ句の果て、母校（東京女子医大病院）を思いつき電話したら、快く泌尿器科で引き受けてくれ、大喜びされた（急性亀頭包内炎）。

【その2】 感冒といわれ、5種類くらいの投薬を受けたが、急に喘息発作出現、苦しんでやってきた25歳の男性。手持ちのメブチンエアーが即奏効し、とても喜んで帰った。その後時々やって来る。

【その3】 41歳の女性。土曜日の夕方、右鼠蹊部腫脹、疼痛がひどい。抗生物質を投与してくださいとのことであったが、とてもひどい。「これはすぐにでも病院へ行かなくては」といって近くの日本医大第2病院の外科へ診療情報提供書を書き、行ってもらった。切開排膿の上、抗生物質の投与を受け、楽になったと大喜び（右鼠蹊炎症性粉瘤）。

最後にもう一つ追加。

平成16年7月28日から8月1日までの第26回国際女医会議(MWIA)には何としても喜んで参加させていただく所存。既に送金して申し込んだ。そして些少なから寄付もさせていただいた。生涯



カルバペネム系抗生物質製剤 指定医薬品 要指示医薬品<sup>※</sup>

**オメガシン<sup>®</sup>** 点滴用0.3g  
点滴用0.3gバッグ

OMEGACIN<sup>®</sup> FOR INTRAVENOUS DRIP INFUSION 0.3g, 0.3gBAG

注射用ピアペナム(略号:BIPM) 注)注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等の詳細は、製品添付文書をご参照ください。使用上の注意の改訂には十分ご留意ください。

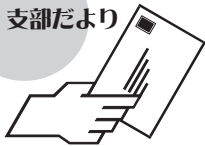
発売元〔資料請求先〕  
**明治製薬株式会社**  
〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16

製造元  
**Wyeth** **ワイズ株式会社**  
〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目10番3号

作成:2003.12

の間に日本にて2回もの国際女医会議に参加できるなんて、至上の喜びとしか思えない。今までのMWIAにて印象的だったのは第20回(1987〈昭和62〉年4月20日～5月3日)、イタリアでの会議にて大型ヨットを1日借り切ってカプリ島に行き、各国の方々と交流を深めたことであった。日本での会議にても心に残る催しをして欲しい。

支部だより



## 来てけへ、青森さ、待ってらはんで

青森支部 前田慶子

青森支部では、5月の総会を成功させるべく、着々と準備進行中であります。前夜祭のアトラクションでの男性コーラスは、曲名が決定したとのことで、「いふり太鼓」の先生方も忙しい診療の合間、練習に励んでおられます。

特別講演は日常の診療のご参考になるほかに、皆様方の美容面にもお役に立つはずでございます。懇親会でのアトラクションは、本場の津軽三味線と手踊り、ねぶた囃子を楽しんでいただきたいと、一流の方々に出演を依頼してあります。なお、津軽三味線をさらにご希望の方には、懇親会終了後にご案内するプランもあります。

また、お料理は昨年申し上げましたようにフルコースを避け、地方色豊かに取り揃えておりますので、ご自由にお好きなものを召し上がっていただきます。なお、記念品は当地方の民芸品をご用意致しました。観光ツアーは既にご案内した通りですが、5月の青森は、美しいりんごの花が真っ盛りで、十和田の新緑も爽やかですので、ただひたすらお天気が良いようにと祈っております。

ただ、一番心配なのは参加人数です。国際女医会議の露払いとして、なにとぞ青森の総会も成功させるべく多数ご参加いただきたいと、青森支部一同伏してお祈り申し上げます。

“来てけへ青森さ待ってらはんで”とは“どうぞ青森においでになって下さい。お待ち申し上げます”という意味です。

では皆様、5月に青森で賑々しくお会い致しましょう。

## 書評

### 『壊れた脳 生存する知』

講談社発行  
定価 1600円  
山田規畝子著

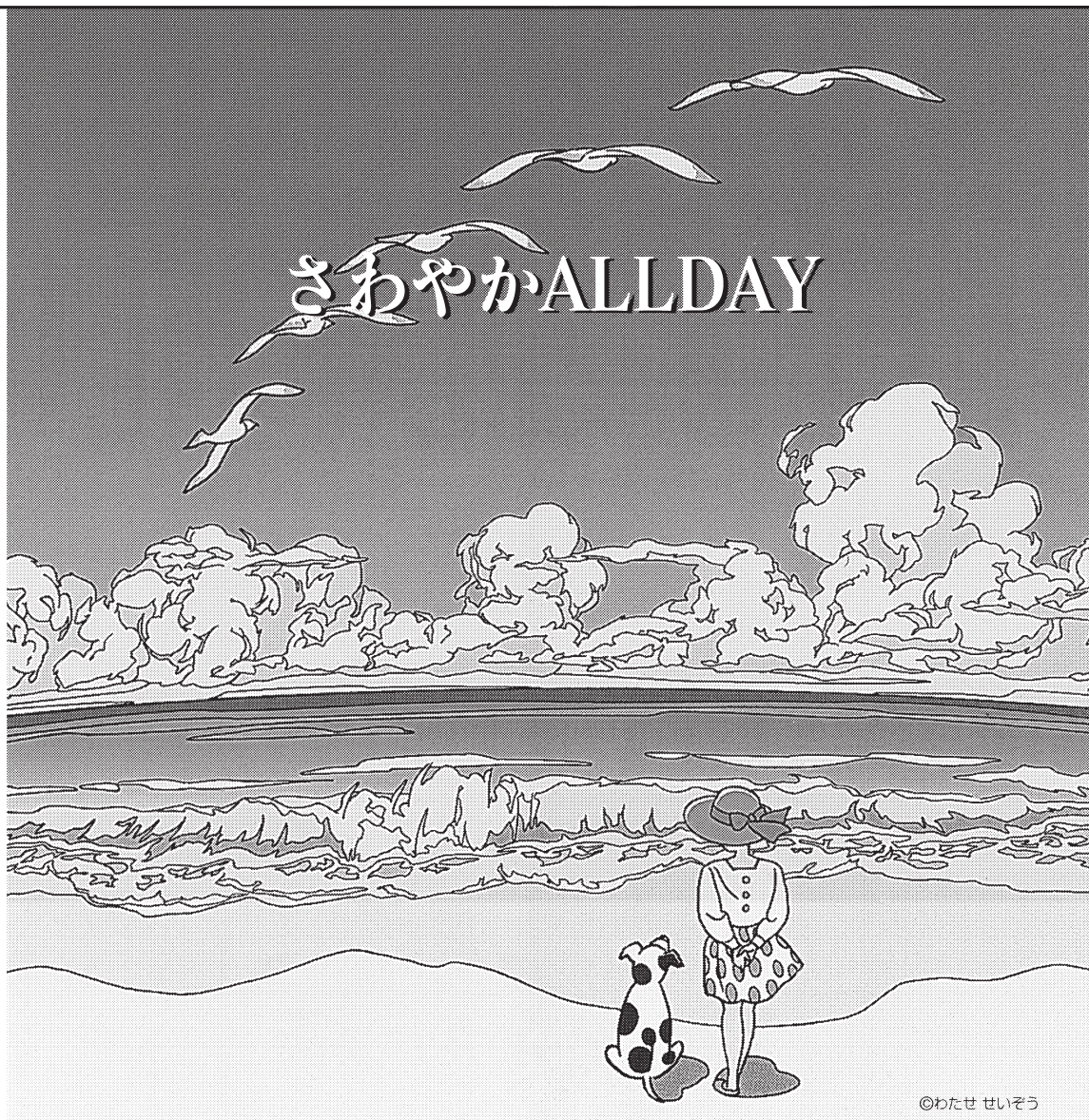


広報部 山崎康子  
「高次脳機能障害」という言葉を知っていますか？ 恥ずかしながら私がこの言葉に出会ったのは3月5日。我が診療所に十余年勤務していた理学療法士の男性が、昨年7月に

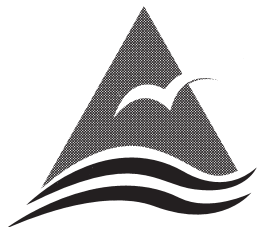
脳卒中で倒れました。幸い軽度の損傷で、リハビリ治療もふくめ3カ月の入院、現在もリハビリ通院中です。遠方からの通勤だったので、今後の勤務について相談にきたときにこの言葉を示されました。そして現在、身体的にはかなり回復したが(左不全麻痺)、抑うつ状態・判断力低下・倦怠感の症状はとれないと言っていました。

そして3月7日、私の二女の家で、この本に出会ったのです。著者は二女と同じ大学・同じ医局の出身です。大学6年生のとき「もやもや病」と診断されてはいたものの、全く病気の影もなく、常にパワフルな後輩だったそうです。著者は故郷に帰り、整形外科病院副院長として、妻として母としてますます医療に厳しく、また楽しく取り組んでいたのです。34歳をむかえた誕生日、就寝中、気持ち悪さを自覚、自ら119番して病院に救急車で搬送されました。脳室内出血であり、頭蓋内血腫除去の手術・損傷は頭頂葉・手術後しばらくは専業主婦として暮らしました。そのあと高次脳機能障害のリハビリ医としての研修もかねて愛媛県の伊予病院に勤務されましたが、再び37歳の時に脳出血をおこし、巨大血腫を摘出。現在は老人保健施設の施設長として自らの体験をいかしつつ、勤務を続けておられます。その「高次脳機能障害」に冒された自らの頭のなかを、科学して、学んで、怒ったり、笑ったり、論されたり、へこんだりしながら、あくまでも医者としての観点から、具体的・客観的に綴られた記録です。この本は我々にとってもこれから医学を学ぶ人たちにとっても、教科書以上のバイブルになるに違いありません。





# 降圧は質の時代へ



高血圧症・狭心症治療薬/持続性Ca拮抗薬 — 薬価基準収載  
 劇薬・指定医薬品・要指示医薬品 (注意—医師等の処方せん・指示により使用すること)

**アムロジン<sup>®</sup>錠<sup>2.5</sup>/<sub>5</sub>**  
**Amlodin<sup>®</sup> ベシル酸アムロジピン**

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は添付文書をご覧ください。



製造発売元 (資料請求先)  
**住友製薬株式会社**  
 〒541-8510 大阪府中央区道修町2丁目2番8号

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

**0120-03-4389**

受付時間/月～金 9:00～17:30 (祝・祭日を除く)  
<http://e-medicine.sumitopharm.co.jp>

……厚生労働省より……

### 平成16年度「児童福祉週間」のお知らせ

厚生労働省では毎年5月5日より1週間を「児童福祉週間」と定めて、この期間中に広く関係機関・団体の協力により、全国各地で児童福祉の推進のための各種の啓発事業および行事が展開されております。ついてはこの啓発活動についてより多くの理解と協力をお願い致します。

#### 平成16年度「児童福祉週間」概要

##### 1) 趣旨

国および地方公共団体、家族、福祉関係機関、児童福祉施設、地域社会等社会全体が一体となって、各種の啓発事業及び行事を展開することにより、児童福祉の理念の一層の周知と児童問題に対する社会的関心の喚起を図るものである。

##### 2) 主唱

厚生労働省、(社福)全国社会福祉協議会、(財)こども未来財団

##### 3) 標語

広げよう 子育て支える 地域の輪  
(公募により選定された作品)

##### 4) 期間

平成16年5月5日(水)より5月11日(火)までの1週間

### 新医学用語豆辞典

## 家族性睡眠相前進症候群

(familial advanced sleep phase syndrome; ASPS)

近年、生体リズムは遺伝子レベルで解析されるようになり、数百以上の遺伝子が24時間振動しており、地球の自転という物理現象が遺伝子に組み込まれ、生体リズムとして生命の奥に潜んでいることが明らかになってきた。リズム発振能力が持っているのは、視交叉上核である。現在、時計シグナルの発振機構、時計遺伝子による細胞周期の制御機構、分子リズムから生体リズムへの統合機構などが解明されてきている。

エジソンによる電球の発明以来、太陽光に依存した生活様式は大きく変貌し、直接自然を相手にしない生活様式をとる人が増加している。このような社会生活様式の変化するなかで、夜遅くまで起きていられないことを主訴とする症候群、すなわち、「家族性睡眠相前進症候群」の家系が発見された。その原因としては、生体リズム遺伝子の1つのPER2のリン酸化部位の遺伝子変異がおこり、時計周期が短くなってしまった、ということまでは解明されている。生体リズムが関与する疾患は増加傾向にあり、リズム研究は重要性を増している。



### 社団法人日本女医会 第49回総会のお知らせ

総会まであと1カ月足らずとなりました。先生方にはますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。すでにお申し込みのことと思われませんが、第49回総会を下記の日程のように開催致しますので、ご確認下さいませよう、お願い申し上げます。

日時 平成16年5月15日(土)  
場所 ホテル青森 〒030-0812 青森市堤町1丁目1の23 (TEL 017-775-4141)  
評議員会 10:00~12:30  
総会 13:00~15:30 登録費:3,000円  
講演会 15:50~17:20  
弘前大学皮膚科教授花田勝美先生  
「女性のための皮膚科学講座」  
懇親会 18:00~20:20 会費:15,000円

#### 【支部行事】

- 5月14日(金) 前夜祭 18:00~20:30  
会費:10,000円
- 5月16日(日)
  - ・青森市内観光ツアー(日帰り)
  - ・津軽弘前市内観光ツアー(日帰り)
  - ・青森市内および十和田湖観光ツアー(1泊2日)
  - ・仏ヶ浦と恐山の下北半島ツアー(1泊2日)

#### 取り扱い旅行者

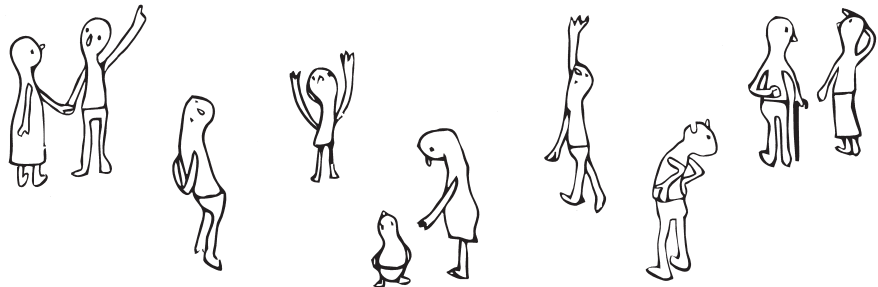
JTB 東北日本交通公社弘前支店 担当:工藤千草  
〒036-8182 青森県弘前市土手町62  
TEL:0172-32-8860  
連絡先  
第49回日本女医会総会事務局 大津幸世  
〒036-8341 青森県弘前市山王町2-5  
TEL:0172-35-9662

うれしいを、つぎつぎと。

**KIRIN**

# 未来を拓く

ひ  
ら



本当に求められている「こと」や「もの」。  
医療のニーズを正しく把握し、  
バイオ技術の追究を通じて、夢を現実にしていく。  
キリンは、新たな医療価値の創造に  
全力で取り組んでいます。

# ((( 理事会議事録 )))

日時：平成15年11月15日(土)  
午後3時

場所：(社)日本女医会会議室

出席者：橋本、石原、加藤、鹿田、大坪、古賀、齋藤、澤口、澁谷、角田、中山、濱田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、山本(詩) (以上20名)

欠席者：内潟、船越、川田、橋川 (以上4名)

平成15年10月理事会議事録を承認。

## 報告事項

1. 庶務報告 ————— 角田理事  
別紙どおり報告、承認される。

2. 会計報告 ————— 森川理事  
平成15年10月分収支別紙どおり報告、承認される。

会計報告について、各部毎の会計明細がほしいとの意見があった。

## 3. 各部報告

・角田理事より11月9日、盛岡で開催した第7回ブロック別懇談会の報告。

「十代の性と健康」指導者養成講座に引き続き開催。本部からの出席者を含め22名の出席。秋田、青森からの出席者もあり、4名の新入会員があった。

【広報部】 ————— 山崎(康)理事  
・12月10日締め切りで、会誌177号の原稿を募集中。

【学術部】 ————— 山本(續)理事  
・1月17日理事会終了後学術講演会を、東北大学病院医療安全推進室・副室長、梅澤昭子先生を講師に、新年会を兼ねて開催する。

## 協議事項

### 1. 2004年国際女医会議の件

- ・宮内庁より皇室関係者の方は開会式よりもレセプションのみのご臨席になる可能性が大きいとの報告があった。
- ・MWIA本部より以前要請した基調講演の演者は、緒方貞子氏一人で良いとの知らせがあった。
- ・多額寄付の免税処置を行っている国際観光振興協会が独立行政法人国際観光振興機構となった。

- ・パーティー関係は予定通りすべて実施する。
  - ・symposium、workshop、plenary session、luncheon lectureも順調に準備中。
  - ・機器展示については会場費との兼ね合いがあり、申し込みが少ない場合は中止もあり得る。バザー、出店についても部屋を用意する等検討する。
  - ・東京都支部連合会では50万円の予算が取っており、お茶とお花の材料費に充てる事が可能。その他は検討中との報告。
  - ・MWIA本部のバザーは村田理事と山本(詩)理事が責任者、早水会員(練馬支部)も担当。日本からは1個100円のポウルとボランティアで寄付される手作り和紙人形を提供する。
  - ・中国女医会参加に関してMWIA本部から、①中国女医会の名称を用いない事②会員外の登録料金で申し込みの事、の二点の注意があり、出席を歓迎するとの回答があった。
  - ・ホテルは海外からの予約はツインシングルユース18,500円、ツイン一人12,000円(朝食・サービス込み、税別)で全てJTBを通す。日本の申込者は事務局を通す。
  - ・会場は2月28日のポスターセッションの締め切り後、無駄の無い部屋割りを検討する。11月28日19時30分より「会場検討委員会」を開催することに決定。
  - ・次回teleconferenceは11月20日(木)午前6時より行う。
  - ・病院見学は国立がんセンターへ30名、鶴風会東京小児療育病院・みどり愛育園へ30名の追加があった。
  - ・石原先生より11月1日に京王プラザホテルと話し合いの報告。予算も最小で見積もり赤字が出たときの処理を考える。会員各々が参加する手作りの会議等を等 suggestion を頂く。なるべくコンベンションを使わず節約する方法を考えた方がよいのではとの意見が出された。
  - ・会員への寄付依頼は、新口座と新振り込み用紙を作り、日本語の申込書も添え1月号の女医会誌に同封する。
- ### 2. その他
- ・「各種助成金の規定」について「市民公開講座・12月25日締め切り」が会員に周知されていないので、「開催3カ月前までに申し込み」に変更し、他の賞、助成金申し込みの一覧表を事業部で作成、次号会誌に載せる。
  - ・「十代の性と健康」指導者養成講座について今年

度で福祉医療機構の補助金が終了のため、女医会の事業として継続する事を諮り賛成多数で継続することに決定。予算案を作り今後検討事項とする。

- ・ホームページ、人材バンク管理について  
ホームページのリニューアルを早急にする。正式な契約も行う。担当は広報部。試作は副会長もチェックする。
- ・人材バンクについては信頼できる業者を捜す。
- ・忘年会・新年会について  
新年会は学術講演会を兼ねて行うので、忘年会を行う。会場等庶務部に一任。
- ・職員賞与について  
2.6カ月分とする。
- ・大坪理事より、女医会誌広告募集を全理事に要請。
- ・鹿田副会長より、「ゆうゆう糖尿病」がリニューアルされるが、まだ購読者数が少ないので全理事に協力要請。
- ・濱田理事より、10月19日札幌で開催された「十代の性と健康」指導者養成講座第5回のサマリーの配布があった。

以上

庶務部担当副会長 鹿田  
古賀、澁谷、角田

日時：平成15年12月20日(土)  
午後3時30分

場所：(社)日本女医会会議室

出席者：橋本、加藤、鹿田、古賀、澤口、澁谷、  
角田、中山、濱田、松井、森川、山崎(ト)、  
山崎(康)、山本(詩)、川田、橋川  
(以上16名)

欠席者：石原、内潟、大坪、斎藤、平敷、船  
越、村田、山本(續) (以上8名)

平成15年10月理事会議事録を承認

#### 報告事項

1. 庶務報告 ————— 澁谷理事  
別紙どおり報告、承認される。
2. 会計報告 ————— 濱田理事  
平成15年11月分収支別紙どおり報告、承認される。
3. 各部報告  
【広報部】 ————— 山本(詩)理事  
・12月19日に会誌177号割付会議を開催。制作者

より退任の希望があり、良い制作所の紹介を依頼。  
【橋本会長より】

- ・12月4日開催の「健やか親子21総会」出席の報告。資料は事務局にある。

#### 協議事項

1. 2004年国際女医会議の件  
平敷理事欠席のため、配布された資料に基づき橋本会長が説明する。
  - ・MWIA本部より再び基調講演をUNの関係者で参加してほしい旨打診がある。
  - ・東京都と厚生労働省から後援に関する返事なし。
  - ・パーティー関係は予定通りすべて実施する。
  - ・symposium chairpersonの人選はMWIA本部が行う。Plenary sessionの一人のspeaker、chairpersonはMWIA本部経由で募集。
  - ・機器展示は今回中止。バザー、出店についてはホテルと検討する。
  - ・お茶会・お花は東京女子医科大学の学生さんに依頼。
  - ・収入を最低限に見積もった実行予算を早急に作成する。
  - ・11月26日鹿田副会長・角田理事が椿山荘を見学の報告。ICS抜きで直接交渉することで了承を得る。
  - ・1月10日までに各担当部署より実行資料、意見を平敷理事へ提出する事。
2. 国際女医会議会員募金の件  
大口寄付以外は女医会へ直接振り込めるように新口座を開設する。口座名「日本女医会 国際女医会議」、一口；一万円以上とする。募金要項、免税希望者への案内も1月号の会誌に同封する。
3. 各賞選考委員会開催日の件  
2月21日理事会開始前に開催する。
4. 平成16年度理事会開催日について  
別紙(案)を検討し16年度3月理事会のみ13日(第2土曜日)に変更。
5. その他
  - ・橋本会長より「国立女性教育会館 女性研究者ネットワーク支援のための懇談会」に参加の依頼状があり、承諾する。
  - ・加藤副会長より12月7日岡山で開催された「十代の性と健康」指導者養成講座第7回について説明。女医会の事業として今後どのような形で継続するか検討して、次のステップを考えたい。
  - ・新しいホームページは徐々に完成しつつある。
  - ・「ゆうゆう糖尿病」について、山崎(康)理事より

編集会議に出席の報告。

リニューアル発行したが購読数700部で、広研印刷が毎月100万円の赤字を被っている。このまま継続しても赤字が増すばかりであるから、継続発行の是非を討議する。6月まで役員各自で10～30部ずつ購入する方法等検討するが、編集が進行中である3月号まで発行する案、定期購読の申し込みが6月までであるから6月号で止める案が出された。「最小限の赤字で止める事が最良の方法である」との意見が絶対数を占める。

百周年記念で発行したのであるから「百周年記念事業」からの補填も可能であるが、広研印刷、編集委員等の意向も伺い、橋本会長と鹿田副会長に一任する。又、1・2月合併号を各役員で最低10部ずつ購買協力してはどうかとの意見も出された。

- ・理事会終了後、青井禮子前理事、現日本医師会理事の訪問があった。

以上

庶務部担当副会長 鹿田  
古賀、澁谷、角田

日時：平成16年1月17日(土)  
午後2時

場所：京王プラザホテル

出席者：橋本、加藤、鹿田、大坪、古賀、齋藤、  
角田、中山、平敷、船越、濱田、松井、村  
田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(蒔)、  
山本(續) (以上18名)

欠席者：石原、内潟、澤口、澁谷、川田、橋  
川 (以上6名)

理事会開始に先立ち、橋本会長より国連NGO国内  
婦人委員会・会合の出席者を募る。

- ・1月21日「58回国連総会政府代表代理房野桂氏による国連総会報告会」。橋本会長が出席予定。
- ・2月11日～2月18日に婦人国際平和自由連盟(WILPF)が主催団体で「日本・エジプト・ジョルダン・パレスチナ女性交流」、「女性と平和」をテーマとして開催される。
- ・2月12日 closed session には橋本会長、平敷理事、山本(蒔)が出席予定。外務省招待パーティには橋本会長、平敷理事が出席予定。

- ・2月14日「公開フォーラム」が広島で開催されるので広島支部に協力を求める。
- ・2月17日婦人国際平和自由連盟主催「夕食会」橋本会長、鹿田副会長が出席予定。

平成15年12月理事会議事録を承認

### 報告事項

1. 庶務報告 ————— 古賀理事  
別紙どおり報告、承認される。
2. 会計報告 ————— 船越理事  
平成15年12月分収支別紙どおり報告、承認される。
3. 各部報告  
【渉外部】 ————— 松井理事  
1月17日の市川房枝記念会の「新春交歓会」の報告。  
【広報部】 ————— 大坪理事  
1月7日に会誌177号校正会議を開催。  
【学術部】 ————— 齋藤理事  
理事会終了後「学術講演会」を開催。

### 協議事項

1. 2004年国際女医会議の件  
平敷理事より資料に基づき説明があった  
・上原記念生命科学財団より100万円の助成金を授与される。  
・橋本会長が経団連より推薦された企業に寄付依頼のため訪問中。  
・現在演題申し込みが17名ありその内16名がメールによる申し込み。  
・三井住友銀行と郵便局共通の振り込み口座を新設した。会員へは一口一万円の寄付願いを会誌に同封し、理事としても協力を要請。  
・東薬工訪問の説明があり金額は前回の国際女医会議より少額になる見込み。  
・理事各自役割分担を再確認した運營業務内容を検討し、女医会サイドでできる部分とICSの助けが必要な部分を次回理事会までに明確にする。これに基づき最終予算の見積りを出す。  
・会議成功のためには理事の一致団結が不可欠と再認識し、成功に向けて協力する事を誓う。
2. 第49回定時総会の件  
詳細は177号会誌に記載され、ご案内も同封し発送する。
3. 平成16年度事業計画案及び予算案の件  
来月理事会までに各部事業案・予算案を作成する

事。

4. 「ゆうゆう糖尿病」の件

3月廃刊を検討していたが、定期購読者もあり6月まで発刊する。予想される赤字は大森先生が寄付や広告で相殺する。詳細は橋本会長と鹿田副会長に一任。

5. ブロック別懇談会の件

来年度は国際女医会議終了後に開催する事を了承。

6. 会誌の件

会誌の制作を金剛出版の都合により変更する。見積りを基に検討し今後は「あづま堂印刷株」に委託することに決定。又、以前より懸案だった紙面の形式変更を討議する。賛成多数でA4・ヨコ組

2段、文字の大きさは14Qとする。細かいレイアウトは広報部に一任。

7. その他

- ・既に掲載済みのリニューアルされたホームページの制作費を提出された見積書に基づき支払いすることに決定。
- ・国際女医会議・検討会を2月3日19時より女医会会議室で開催を決定。
- ・橋本会長より、経団連から指定された企業を知っていたら紹介して欲しい、との要請があった。

以上  
庶務部担当副会長 鹿田  
古賀、角田

**会員動静** (2004年3月23日現在)

新卒入会	入澤 桃子	埼玉
入会		
白井由紀子	(昭和 51 年卒)	岩手
五味 郁子	(昭和 42 年卒)	岩手
滝川佐波子	(昭和 61 年卒)	岩手
村井 啓子	(昭和 49 年卒)	岩手
小川 葉子	(昭和 55 年卒)	新宿
湯沢美都子	(昭和 50 年卒)	千代田
飛嶋佐斗子	(平成 4 年卒)	港
古川みどり	(昭和 60 年卒)	東女医学内
梅村しのぶ	(昭和 60 年卒)	神奈川

川越 理香	(昭和 61 年卒)	神奈川
小栗貴美子	(昭和 41 年卒)	愛知
寺崎 浩子	(昭和 55 年卒)	愛知
藤井 則枝	(昭和 20 年卒)	山口

**退会 10 名  
物故**

鈴木 ヒサ	(昭和 25 年卒)	福島
小野 昌子	(昭和 34 年卒)	埼玉
岩崎 恵美	(昭和 25 年卒)	神奈川
川口 正子	(昭和 12 年卒)	神奈川
高橋 重子	(昭和 16 年卒)	滋賀
米田あや子	(昭和 18 年卒)	大阪第7

**病院見学のエスコートを募っています**

とき：7月30日(金) 14:00～18:00  
見学先：①国立成育医療センター②東京女子医科大学③国立がんセンター④聖路加国際病院⑤医療法人社団 大坪会 ホスピア三軒茶屋(老人保健施設)⑥社会福祉法人 鶴風会 東京小児療育病院

**第26回国際女医会議のホームステイをご提供ください**

期間：7月29日～8月1日(初日はホテル泊)

へしきあつこ  
いずれも **平敷淳子 (fax 049-295-8003)**  
までご連絡ください。

**編集後記**

卒業シーズンですが氷雨が続いています。この号がお手元に届く頃は、連休前、美しい日本の5月は直ぐそこです。青森での総会には参加いただけるのでしょうか。北国の春を心身共に味わいたいものです。この号より活字は大きく、横組みの紙面となりました。時代に、また会員のニーズに合わせていくことを目的としました。21世紀をむかえ希望に満ちた門出のつもりが、鯉ヘルペス・鳥インフルエンザ・BSEなど身近にあった人間の仲間に異変が起っています。中東・ロシア・スペインでの大きなテロが世界の安全を脅かしています。世界の女医の力で暗い話題を吹き飛ばすように会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。(山碕)

**日本女医会誌**

第178号 2004年4月25日発行  
編集人 大坪公子  
発行人 橋本葉子  
制作 あづま堂印刷齋

発行所 **社団法人 日本女医会**

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-8-7 青山宮野ビル  
TEL 03-3498-0571 FAX 03-3498-8762  
http://www.jmwa.or.jp  
e-mail address:office@jmwa.or.jp

## 第26回 国際女医学会議寄付者一覧

(五十音順・敬称略・2004年3月20日現在)

謹んで御礼申し上げます

相原 村子 …… 鳥取  
 網代 成子 …… 葛飾  
 石井 朗子 …… 群馬  
 石川てる代 …… 都下東  
 石川 典子 …… 神奈川  
 石橋 純子 …… 都下西  
 磯野 和子 …… 茨城  
 市原 直子 …… 高知  
 伊東 千秋 …… 豊島  
 伊藤 翠子 …… 都下東  
 犬竹 喜世 …… 埼玉  
 稲生 襄 …… 神奈川  
 今泉 栄子 …… 宮城  
 今井 千草 …… 都下東  
 上野 壽子 …… 栃木  
 梅岡 智子 …… 愛媛  
 梅谷 和子 …… 北海道  
 榎 真美子 …… 秋田  
 大河内和子 …… 愛知  
 大西 洋子 …… 大阪1  
 大場須賀子 …… 都下東  
 大畑 信子 …… 板橋  
 大森 安恵 …… 学内  
 大屋敷純子 …… 世田谷  
 岡田 文恵 …… 神奈川  
 緒方 文江 …… 佐賀  
 小倉 陽子 …… 愛知  
 織田 洋子 …… 佐賀  
 小幡 文子 …… 都下東  
 柿添 瓊子 …… 長崎  
 笠置真知子 …… 愛媛  
 勝部 令子 …… 杉並  
 加藤 竺子 …… 福岡  
 加藤 光子 …… 荒川  
 金井 美津 …… 文京  
 金子ミサヲ …… 秋田  
 上條 節子 …… 長野  
 苅谷 愛 …… 愛知  
 川田 仁子 …… 港  
 河出 明子 …… 愛知  
 河鍋 楠美 …… 埼玉  
 河原よし子 …… 千葉  
 川村富美子 …… 足立  
 神原 佳子 …… 大阪10  
 木下 晴美 …… 佐賀  
 五島 瑳智子 …… 千葉

今野 信子 …… 新宿  
 齋藤 啓子 …… 新宿  
 齋藤 俊子 …… 山形  
 坂口 潤子 …… 静岡  
 定森 真理 …… 埼玉  
 佐藤 栄美子 …… 新潟  
 佐藤 千代子 …… 愛知  
 佐藤 葉子 …… 宮城  
 佐分 妙 …… 愛知  
 重城 敬子 …… 千葉  
 重松 純子 …… 大阪7  
 島田 明美 …… 栃木  
 白石 憲子 …… 愛媛  
 白浜 光子 …… 中野  
 白水 明代 …… 福岡  
 鈴木 弓 …… 群馬  
 鈴木 葉子 …… 荒川  
 隅 初音 …… 宮崎  
 高岩 真理 …… 大阪3  
 高須 梅代 …… 愛知  
 高橋 千代 …… 大田  
 高村 悦子 …… 学内  
 宝田 雅子 …… 富山  
 瀧田 恭代 …… 愛知  
 竹重 博子 …… 長野  
 田中 蘭子 …… 埼玉  
 坪井るみ子 …… 埼玉  
 内藤 澄江 …… 北  
 長池 博子 …… 宮城  
 中島 桂子 …… 杉並  
 長友由紀子 …… 鹿児島  
 中橋 光子 …… 世田谷  
 中原千恵子 …… 文京  
 西嶋 攝子 …… 大阪7  
 西山 苑 …… 愛媛  
 西山 登紀子 …… 愛媛  
 根岸 和子 …… 群馬  
 根本 瑩子 …… 岩手  
 練馬女医会  
 野崎 藤子 …… 宮崎  
 野澤 明子 …… 板橋  
 野田 富子 …… 香川  
 橋本美知子 …… 大阪10  
 橋本 葉子 …… 学内  
 秦 幸枝 …… 島根  
 服部 君江 …… 愛知

濱田 啓子 …… 北海道  
 平山 恵美 …… 北海道  
 平山 玖美子 …… 練馬  
 深井 登起子 …… 埼玉  
 深井 梨花 …… 埼玉  
 福岡 支部  
 藤井 奈保子 …… 静岡  
 藤田 昭子 …… 栃木  
 藤田 静代 …… 愛知  
 船木 依子 …… 北  
 舩松ヒサ子 …… 荒川  
 細谷 貴美子 …… 秋田  
 堀 郁子 …… 鳥取  
 堀口 雅子 …… 千代田  
 堀野 雅子 …… 千葉  
 松井ひろみ …… 目黒  
 松浦 俊子 …… 香川  
 松木 耀子 …… 都下東  
 道永 麻里 …… 墨田  
 源川 千鶴子 …… 埼玉  
 三村 圭美 …… 神奈川  
 宮地 民子 …… 兵庫  
 向井 貴美江 …… 大分  
 森川 由紀子 …… 足立  
 森 千恵子 …… 杉並  
 山崎 倫子 …… 都下東  
 山住 美津子 …… 杉並  
 山田 多佳子 …… 新宿  
 山田 三枝子 …… 杉並  
 横内 戴子 …… 青森  
 横越 美佐子 …… 富山  
 吉武 幸 …… 荒川  
 吉村 晶子 …… 都下東  
 和田 純子 …… 大阪5  
 渡辺 静子 …… 豊島

### <一般企業>

サンメディックス株式会社  
 日本光電工業株式会社  
 東日本メディコム株式会社  
 メッドトラスト株式会社  
 和光堂株式会社